

仙台市基本計画（答申）素案 概要

第10回審議会
R2(2020) .11.12
参考資料1

計画期間 10年間（令和3年度（2021年度）～令和12年度（2030年度））

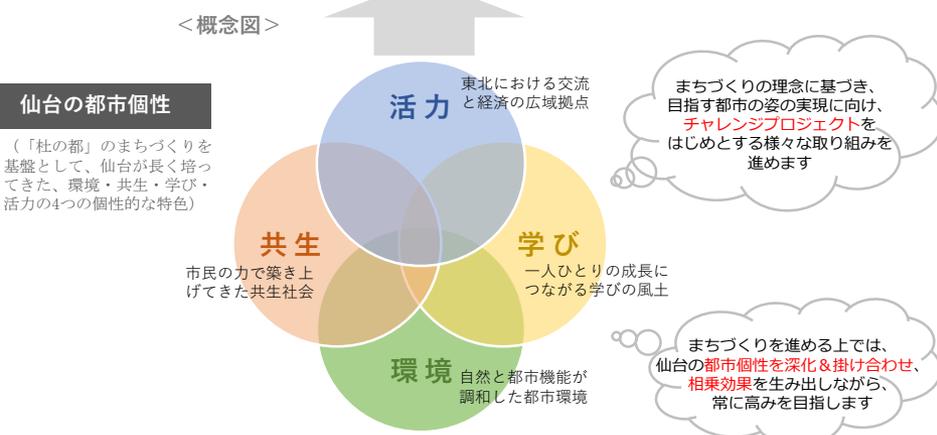
将来人口推計
・市の人口は減少局面に入るが、計画期間中の大幅な減少の可能性は低いと予測
・人口動態は地域によって様々であり、地域特性に応じたきめ細かな対応が必要
・人口減少の中にあってもまちの活力を生み出す取り組みが重要

まちづくりの理念（新たなまちづくりに向けた考え方）

挑戦を続ける、新たな杜の都へ ～"The Greenest City" SENDAI～

・連綿と受け継がれてきた「杜の都」のまちづくりを基盤として、私たちが誇りに思える、世界からも選ばれるまちを目指す
・仙台が持つ都市個性の深化と掛け合わせを通じて、「杜の都」を新しいステージに押し上げる挑戦をはじめ
・副題を「The Greenest City SENDAI」とし、「杜の都」と親和性のある「Green」という言葉に、目指す都市の姿に関連する多様な意味を持たせるとともに、世界を見据えて常に高みを目指していくという方向性を示す

目指す都市の姿（仙台の都市個性を見つめ直し、それぞれを深化させた、目指す都市の姿）



社会の変化に適応しながら、目指す都市を実現するために
～新型コロナウイルス感染症（COVID-19）を踏まえて～
・これまでも震災や公害、自然災害など数々の困難を乗り越えてきたように、今後も起こりうる危機に際して、テクノロジーを積極的に取り入れるなど社会の変化への対応力をさらに高め、安全安心な生活基盤を守り抜いていく
・人々の暮らし方や働き方が見直されている中、緑豊かで住みやすい仙台の優位性に磨きをかけ、それを内外に発信していくことで、選ばれる都市を目指していく

チャレンジプロジェクト

（仙台市役所のみならず、住民や地縁団体を中心として仙台に関わる様々な主体の力を合わせながら、仙台の特性を最大限に生かして重点的に取り組む8プロジェクト）

- ①杜と水の都プロジェクト**
目標：杜の都の文化と風土に巡りあえる都市空間をつくる
実施の方向性：
01 「杜の都」の象徴となる都心空間をつくる
02 みどりを楽しめる生活空間をつくる
03 水辺を楽しめる親水空間をつくる
- ②防災環境都市プロジェクト**
目標：持続可能でしなやかな都市環境をつくる
実施の方向性：
01 防災・減災の備えを日常生活に織り込む
02 環境負荷の低い生活・ビジネススタイルを定着させる
03 持続可能な都市インフラをつくる
- ③心の伴走プロジェクト**
目標：多様性を尊重し、あらゆる人が安心して暮らせる地域をつくる
実施の方向性：
01 多様性が尊重される環境をつくる
02 孤立しない、つながる仕組みをつくる
03 心を支える環境をつくる
- ④地域協働プロジェクト**
目標：多様性を力に変える地域をつくる
実施の方向性：
01 多様な協働が生まれる環境をつくる
02 協働の実践機会をつくる
03 地域の交流を活発化させる
- ⑤笑顔咲く子どもプロジェクト**
目標：子どもたちの未来が広がる環境をつくる
実施の方向性：
01 意欲を引き出し、伸ばす教育環境をつくる
02 個性に合わせた成長の機会をつくる
03 子育てを楽しめる環境をつくる
- ⑥ライフデザインプロジェクト**
目標：自分らしい生き方が実現できる環境をつくる
実施の方向性：
01 まちの至る所で学びと実践の機会がある環境をつくる
02 誰もが活躍ができる環境をつくる
03 ライフステージに合わせた健康を支える
- ⑦TOHOKU未来プロジェクト**
目標：世界に発信できるビジネスモデルを東北につくる
実施の方向性：
01 革新的なビジネスモデルを生み出す
02 仙台・東北の産業の成長を支える
03 仙台・東北に世界中から人を呼び込む
- ⑧都心創生プロジェクト**
目標：人が集い、新しいチャレンジが生まれる都心をつくる
実施の方向性：
01 投資を呼び込むまちをつくる
02 イノベーションが生まれる都心をつくる
03 まちの回遊性を向上する

地域づくりの方向性

（地域ごとに異なる特性を踏まえ、今後の地域づくりの方向性を示すもの）

- (1)ふるさとの豊かな自然を守り、安全・安心な地域をつくる
 - (2)支えあい、誰もが心豊かに暮らせる地域をつくる
 - (3)学びの環境が充実し、子どもたちが健やかに育つ地域をつくる
 - (4)個性豊かな賑わいと交流が生まれる地域をつくる
- ※より詳細な地域特性を踏まえた「区ごとの地域づくりの方向性」も定める

未来をつくる市政運営

（仙台市役所の、それぞれの「目指す都市の姿」の実現に向けた基本姿勢や都市構造形成の方針、取り組み施策）

市政運営の基本姿勢	(1)持続可能な都市運営の基盤を構築する (2)協働によるまちづくりを加速させる (3)社会の変化にしなやかに対応する組織をつくる (4)デジタル化により豊かな市民生活を実現させる (5)大都市としての責任を果たす		
都市構造形成の方針	(1)基本的考え方 (2)自然と調和した都市構造の形成 (3)公共交通を中心とした交通体系の構築		
杜の恵みと共に暮らすまちへ	多様性が社会を動かす共生のまちへ	学びと実践の機会があふれるまちへ	創造性と可能性が開くまちへ
1 みどり (3施策) 2 環境 (4施策) 3 防災・減災 (3施策)	4 人権 (2施策) 5 地域生活 (5施策) 6 健康・医療 (3施策) 7 安全・安心 (2施策)	8 教育 (4施策) 9 子育て (5施策) 10 学び (4施策)	11 経済 (4施策) 12 観光 (2施策) 13 都市機能 (7施策)

計画の推進

1 基本計画の推進 2 進行管理の方針 (1) 実施計画の策定 (2) 実施計画の進行管理

区ごとの地域づくりの方向性

（地域のより詳細な特性を踏まえ、区ごとに今後の地域づくりの方向性を示すもの）

青葉区	宮城野区	若林区	太白区	泉区
(1) 多くの人が集い、賑わいと交流の場となる活力あるまちづくり (2) お互いを認めあい、支えあい、誰もが健やかで心豊かに暮らせるまち (3) 地域防犯・防犯力を高め、安全で安心して過ごせるまち (4) 杜の都の自然、歴史が息づき、文化の薫るまち	(1) 海辺のふるさとをつくる～集い、想いをつなぐまちへ～ (2) 都心のシンボルエリアをつくる～賑わいを創り、可能性を活かせるまちへ～ (3) 心地よいコミュニティをつくる～支えあい、安心して暮らすためのまちへ～ (4) 新たな魅力が生まれる場をつくる～ふるさとを知り、元気を体感できるまちへ～	(1) 田園・水辺・生物と共に生き、自然災害の経験を日常に活かすまち (2) 新旧の住民が混ざり合い、支え合うあたたかなまち (3) 歴史のなかに暮らし、地域の魅力を育てあうまち (4) 多様な協働を通じて、新しい変化を生み出すまち	(1) ともに支え合い、誰もが自分らしく健やかに暮らせるまち (2) 災害に強く、安全・安心に暮らせるまち (3) 豊かな地域資源を活かした賑わいと潤いのあるまち (4) 幅広い世代が垣根を超えて交流し、集い、活動が生まれるまち (5) 多様な地域特性を生かせるまち	(1) 一人ひとりが自分らしい心豊かな生活を送ることができ「安心」のまち (2) 魅力的なコンテンツを上手に活かして、人を呼び込める「にぎわい」のまち (3) みどり豊かな風景や四季折々の自然を身近に感じ、体験できる「癒し」のまち (4) 洗練された街並みや日々の居心地のよさで選ばれ続ける「定住」のまち